

脳卒中の医療連携体制を担う医療機関
平成29年度実績の集計

平成30年8月

岡山県保健福祉部 医療推進課

＜ 目 次 ＞

I	急性期及び回復期の機能を担う医療機関の状況	… P. 1～ 5
II	維持期の機能を担う医療機関の状況	… P. 6～ 7
III	地域連携クリティカルパスの利用状況	… P. 8
IV	急性期の機能を担う医療機関における専門的治療件数	… P. 9
V	調査様式及び記入要領	… P. 10～24
	【付属資料1】各調査項目の関係性（概念図）	… 別添
	【付属資料2】急性期医療機関別実績表	… 別添

【調査内容】

平成29年度（H29. 4. 1～H30. 3. 31）における医療機関ごとの治療等実績

【対象及び回収状況】

調査票の様式	担っている医療機能	対象機関数及び内訳	回収
別紙1	急性期	15 急性期Aの医療機能を有する：10 急性期Bの医療機能を有する： 1 急性期Cの医療機能を有する： 4	15
別紙2	急性期及び回復期	15 急性期A及び回復期の2つの医療機能を有する： 4 急性期B及び回復期の2つの医療機能を有する： 3 急性期C及び回復期の2つの医療機能を有する： 8	15
別紙3	回復期	34	33
別紙4	維持期	101 維持期（療養病床を有する施設）の医療機能を有する：43 維持期（在宅医療）の医療機能を有する：22 維持期（療養病床を有する施設）及び維持期（在宅医療）の医療機能を有する：36	98

（備考） 別紙4の対象は、維持期の機能を担っているすべての医療機関等であり、この中には急性期、回復期の機能も担っている医療機関が26機関ある。

I 急性期及び回復期の機能を担う医療機関の状況

1 急性期又は回復期の機能を担う医療機関における脳卒中入院患者数

(人)

担っている医療機能	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
急性期+回復期 (X)	5,642	479	1,727	509	8,357
新規入院患者数 ※1 (Y)	4,133	428	1,169	352	6,082
他の急性期医療機関からの紹介 (i)	1,509	51	558	157	2,275
急性期(A・B・C) ※2	4,457	429	1,343	415	6,644
新規入院患者数 (Z)	3,841	386	1,145	342	5,714
他の急性期医療機関からの紹介	616	43	198	73	930
回復期のみ	1,185	50	384	94	1,713
新規入院患者数	292	42	24	10	368
他の急性期医療機関からの紹介	893	8	360	84	1,345

※1 新規入院患者数には、紹介によらない患者のほか、急性期病院以外(回復期・維持期)からの紹介患者を含む。

※2 急性期(A・B・C)には、急性期及び回復期の2つの機能を担う医療機関における入院患者数を含む。

(人)

急性期(A・B・C)の内訳	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
急性期(A)	3,611	321	1,111	367	5,410
新規入院患者数	3,333	310	1,045	326	5,014
他の急性期医療機関からの紹介	278	11	66	41	396
急性期(B)	238	24	57	5	324
新規入院患者数	178	23	34	2	237
他の急性期医療機関からの紹介	60	1	23	3	87
急性期(C)	608	84	175	43	910
新規入院患者数	330	53	66	14	463
他の急性期医療機関からの紹介	278	31	109	29	447

【参考】再発による入院患者数

(人, %)

急性期+回復期	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
新規入院患者数(再掲) (a)	4,133	428	1,169	352	6,082
うち再発による入院 ※3 (b)	387	26	36	14	463
(b) / (a)	9.4%	6.1%	3.1%	4.0%	7.6%

※3 医療機関において把握している人数のみ計上している。

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における延べ患者数(X)の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	5,234	569	1,595	554	7,952
平成21年度	5,114	500	1,713	525	7,852
平成22年度	5,836	415	1,872	601	8,724
平成23年度	5,322	466	1,733	532	8,053
平成24年度	5,271	435	1,770	624	8,100
平成25年度	5,209	505	1,736	588	8,038
平成26年度	5,174	498	1,910	647	8,229
平成27年度	5,154	466	1,836	601	8,057
平成28年度	5,409	477	1,734	563	8,183
平成29年度	5,642	479	1,727	509	8,357

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における急性期からの紹介入院患者数(i)の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	754	3	364	70	1,191
平成21年度	946	4	442	98	1,490
平成22年度	972	4	503	111	1,590
平成23年度	1,036	6	519	120	1,681
平成24年度	1,142	0	547	169	1,858
平成25年度	1,115	9	544	145	1,813
平成26年度	1,103	8	572	150	1,833
平成27年度	997	8	509	159	1,673
平成28年度	1,242	32	503	156	1,933
平成29年度	1,509	51	558	157	2,275

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における新規入院患者数(Y)の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	4,480	566	1,231	484	6,761
平成21年度	4,168	496	1,271	427	6,362
平成22年度	4,864	411	1,369	490	7,134
平成23年度	4,286	460	1,214	412	6,372
平成24年度	4,129	435	1,223	455	6,242
平成25年度	4,094	496	1,192	443	6,225
平成26年度	4,071	490	1,338	497	6,396
平成27年度	4,157	458	1,327	442	6,384
平成28年度	4,167	445	1,231	407	6,250
平成29年度	4,133	428	1,169	352	6,082

【参考】急性期の機能を担う医療機関における新規入院患者数(Z)の推移

(人)

	脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	計
平成20年度	4,170	486	1,171	462	6,289
平成21年度	3,872	444	1,228	414	5,958
平成22年度	4,342	354	1,308	462	6,466
平成23年度	3,770	380	1,142	390	5,682
平成24年度	3,628	348	1,097	427	5,500
平成25年度	3,728	428	1,126	424	5,706
平成26年度	3,711	404	1,276	458	5,849
平成27年度	3,773	392	1,242	418	5,825
平成28年度	3,851	376	1,189	382	5,798
平成29年度	3,841	386	1,145	342	5,714

2 新規入院患者の来院経緯

(1) 救急車により搬送されてきた新規入院患者数 ※

(人, %)

搬送先	新規入院患者数(再掲) (a)	うち救急車による搬送 (b)	(b) / (a)
急性期+回復期	6,082	2,620	43.1%
急性期(A)	5,014	2,270	45.3%
急性期(B)	237	87	36.7%
急性期(C)	463	151	32.6%
回復期のみ	368	112	30.4%

(2) 新規入院患者の居住地及び入院先医療機関の所在地(二次保健医療圏域別) ※

(人)

患者居住地 医療機関所在地	県南東部	県南西部	高梁・新見	真庭	津山・英田	県外	計
県南東部	2,407	49	26	3	37	30	2,552
県南西部	53	597	53	2	4	16	725
高梁・新見	1	1	21	0	0	0	23
真庭	0	0	12	97	15	0	124
津山・英田	4	0	0	9	296	13	322
計	2,465	647	112	111	352	59	3,746

※(1)、(2)ともに医療機関において把握している人数のみ計上している

3 退院した患者の状況

(1) 急性期A病院へ紹介した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数(紹介含む) (再掲)	急性期(A)への 紹介患者数	割合
急性期+回復期	8,357	460	5.5%
急性期(A)	5,410	269	5.0%
急性期(B)	324	7	2.2%
急性期(C)	910	30	3.3%
回復期のみ	1,713	154	9.0%

(2)在宅等生活の場に復帰した患者数 ※

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)	在宅等生活の場に 復帰した患者数	在宅等復帰率
急性期+回復期	8,357	4,417	52.9%
急性期のみ	4,252	1,991	46.8%
急性期及び 回復期	2,392	1,305	54.6%
回復期のみ	1,713	1,121	65.4%

※ 在宅等とは、在宅、グループホーム、有料老人ホームなど、医師が配置されていない生活の場のこと。

【参考】地域包括ケア病棟へ転棟院した患者数

(人, %)

入院元	入院患者数 (紹介含む)(再掲) (a)	地域包括ケア病棟への転棟院			(b) / (a)
		自院内の 転棟	他院への 転院	計 (b)	
急性期+回復期	8,357	183	380	563	6.7%
急性期のみ	4,252	38	283	321	7.5%
急性期及び 回復期	2,392	87	95	182	7.6%
回復期のみ	1,713	58	2	60	3.5%

4 入院中のケアプラン作成状況

(機関数, 人)

担っている 医療機能	医療機関数	ケアプラン 作成機関数	入院中ケアプランを 作成した患者数
急性期+回復期	64	49	6,151
急性期のみ	15	12	3,306
急性期及び 回復期	15	14	1,555
回復期のみ	34	23	1,290

Ⅱ 維持期の機能を担う医療機関の状況

1 維持期の機能を担う医療機関等における脳卒中患者の状況

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999
うちH29 新規患者	3,016	151	1,512	346	12	5,037

【参考】医療機関所在圏域別の患者数

(人)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数 (再掲)	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999
県南東部	2,911	177	807	385	4	4,284
県南西部	5,368	262	1,508	747	0	7,885
高梁・新見	2,146	9	371	64	0	2,590
真庭	388	27	233	7	12	667
津山・英田	3,502	150	718	203	0	4,573

【参考】医療機関所在圏域別の患者割合

(%)

区分	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
総患者数	71.6%	3.1%	18.2%	7.0%	0.1%	100.0%
県南東部	68.0%	4.1%	18.8%	9.0%	0.1%	100.0%
県南西部	68.1%	3.3%	19.1%	9.5%	0.0%	100.0%
高梁・新見	82.9%	0.3%	14.3%	2.5%	0.0%	100.0%
真庭	58.2%	4.0%	34.9%	1.0%	1.8%	100.0%
津山・英田	76.6%	3.3%	15.7%	4.4%	0.0%	100.0%

【参考】平成29年度中に再発し、急性期病院へ入院した患者 ※

(人)

	自院の急性期病棟へ入院	他の急性期病院へ入院	合計
再発患者数	37	183	220

※維持期を担う医療機関等において把握している人数のみ計上している

【参考】総患者数の推移

(人)

	通院患者数	往診患者数	入院または 入所患者数	通院リハ 利用者数	その他	合計
平成22年度	15,825	674	5,323	1,344	35	23,201
平成23年度	16,916	708	5,603	1,278	16	24,521
平成24年度	13,746	845	5,654	1,595	5	21,845
平成25年度	13,247	1,029	5,362	1,598	23	21,259
平成26年度	15,431	704	5,651	1,558	17	23,361
平成27年度	15,622	817	5,755	1,510	38	23,742
平成28年度	14,389	925	5,139	1,973	10	22,436
平成29年度	14,315	625	3,637	1,406	16	19,999

2 急性期又は回復期の機能を担う医療機関から維持期への紹介の状況

(1) 患者数

(人)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 新規患者数	2,023	367	2,390
自院内の転棟	142	113	255
他院からの転院	1,881	254	2,135

(2) 医療機関数

(機関数)

区分	急性期病院から	回復期病院から	合計
紹介を受けた 医療機関数	75	56	131
自院内の転棟	10	14	24
他院からの転院	65	42	107

3 維持期の機能を担う医療機関等における介護支援専門員との連携

維持期を担う医療機関数	連携がある機関数	連携患者数
101 機関	56機関 (55.4%)	1,187人

Ⅲ 地域連携クリティカルパスの利用状況

担っている 医療機能	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b)／(a)	パス利用件数(件)		
				(内訳)		
				自院作成	他院作成	
急性期	15	14	93.3%	1,960	1,950	10
急性期及び 回復期	15	13	86.7%	1,036	746	290
回復期	34	30	88.2%	853	0	853
急性期＋回復期	64	57	89.1%	3,849	2,696	1,153
維持期	101	50	49.5%	396		
合計	165	107	64.8%	4,245		

【参考】急性期又は回復期の機能を担う医療機関における地域連携クリティカルパスの推移

	医療機関数 (a)	パス導入 機関数 (b)	左記の割合 (b)／(a)	パス作成件数(件)		
				(内訳)		
				自院作成	他院作成	
平成20年度	54	26	48.1%	1,264	882	382
平成21年度	57	43	75.4%	2,676	1,828	848
平成22年度	62	52	83.9%	3,032	2,099	933
平成23年度	63	52	82.5%	3,355	2,182	1,173
平成24年度	63	52	82.5%	3,417	2,155	1,262
平成25年度	65	55	84.6%	3,335	2,254	1,081
平成26年度	65	57	87.7%	3,487	2,361	1,126
平成27年度	65	58	89.2%	3,493	2,350	1,143
平成28年度	63	57	90.5%	3,209	2,123	1,086
平成29年度	64	57	89.1%	3,849	2,696	1,153

IV 急性期の機能を担う医療機関における専門的治療件数

① t-PA静注療法

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	158	185	164	154	169	239	207	264	271	318

② 脳内血腫除去術(脳卒中によるもの)

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	(339)	(320)	(270)	(248)	(201)	(194)	(221)	(260)	(298)	234

③ 脳動脈瘤クリッピング術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	446	361	389	319	305	335	299	247	253	206

④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	(138)	(167)	(222)	(273)	(353)	(347)	(401)	(371)	(346)	280

⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	57	85	57	34	22	19	38	57	2	32

⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術

(件)

年度										H29
件数	(H29から調査)									20

⑦ 経皮的脳血栓回収術

(件)

年度									H28	H29
件数	(H28から調査)								119	159

⑧ 頸動脈内膜剥離術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	132	136	116	130	110	112	70	83	97	90

⑨ 頸動脈ステント留置術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	(H29から調査)									100

⑩ 脳動脈バイパス術

(件)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
件数	(H29から調査)									36

※②及び④については、H29から定義を大幅に変更したため、H28までを括弧書きによる参考値とする

脳卒中医療連携評価シート(急性期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	

1. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数	左記を除いた入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
合計【ア】		人	



合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数	人
----------------------	---

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数	人
② 自院の地域包括ケア病棟へ転棟した患者数	人
③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数	人
④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数	人

病院名	
-----	--

3. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の専門的治療実施状況

区分	実施件数
① t-PA静注療法	件
② 脳内血腫除去術 (脳卒中によるもの)	件
③ 脳動脈瘤クリッピング術	件
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	件
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	件
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	件
⑦ 経皮的脳血栓回収術	件
⑧ 頸動脈内膜剥離術	件
⑨ 頸動脈ステント留置術	件
⑩ 脳動脈バイパス術	件

4. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の「地域連携クリティカルパス」実施状況

① 脳卒中地域連携クリティカルパスの実施状況	実施している ・ 実施していない
② 貴院が作成したクリティカルパス数	件
③ 他院が作成したクリティカルパスの利用件数	件

5. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)のケアプラン作成状況

入院中にケアプランを作成した患者数	人
-------------------	---

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(急性期・回復期の両方を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	

1. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者数	左記を除いた入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人

合計【ア】 人



合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数	<input type="text"/> 人
----------------------	------------------------

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数	人
② 自院の地域包括ケア病棟へ転棟した患者数	人
③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数	人
④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数	人

病院名

3. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の専門的治療実施状況

区分	実施件数
① t-PA静注療法	件
② 脳内血腫除去術 (脳卒中によるもの)	件
③ 脳動脈瘤クリッピング術	件
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	件
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	件
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	件
⑦ 経皮的脳血栓回収術	件
⑧ 頸動脈内膜剥離術	件
⑨ 頸動脈ステント留置術	件
⑩ 脳動脈バイパス術	件

4. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の「地域連携クリティカルパス」実施状況

① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
② 貴院が作成したクリティカルパス数	件
③ 他院が作成したクリティカルパスの利用件数	件

5. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)のケアプラン作成状況

入院中にケアプランを作成した患者数	人
-------------------	---

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(回復期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	

1. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

脳卒中による入院患者数 (実人数)	急性期病院からの紹介による入院患者数	左記を除いた入院患者数【a】	【a】のうち再発による入院患者数
脳梗塞	人	人	人
一過性脳虚血発作	人	人	人
脳内出血	人	人	人
くも膜下出血	人	人	人
合計【ア】		人	人



合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数	人
----------------------	---

合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数	県南東部	(岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町)	人
	県南西部	(倉敷市、笠岡市、井原市、総社市、浅口市、早島町、里庄町、矢掛町)	人
	高梁・新見	(高梁市、新見市)	人
	真庭	(真庭市、新庄村)	人
	津山・英田	(津山市、美作市、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町)	人
	岡山県外		人

2. 平成29年度(H29/4/1~H30/3/31)に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数	人
② 自院の地域包括ケア病棟へ転棟した患者数	人
③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数	人
④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数	人

病院名	
-----	--

3. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の「地域連携クリティカルパス」実施状況

① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している ・ 実施していない
② 貴院が作成したクリティカルパス数	件
③ 他院が作成したクリティカルパスの利用件数	件

4. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)のケアプラン作成状況

入院中にケアプランを作成した患者数	人
-------------------	---

5. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

脳卒中医療連携評価シート(維持期を担う医療機関用)

病院名			
連絡先	部署名:	担当者氏名:	
	電話番号:	FAX番号:	

1. 平成29年度末現在(H30/3/31)の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

脳卒中患者数 (実人数)	H30/3/31現在の 総患者数	左記のうち、 H29/4/1～H30/3/31に 新たに患者となった数
① 通院患者	人	人
② 往診患者 (訪問看護、訪問リハ含む)	人	人
③ 入院または入所患者	人	人
④ 通所リハビリテーション利用者	人	人
⑤ その他	人	人

2. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の新規患者のうち、紹介によるもの

紹介元	自院からの紹介(転棟)	他院からの紹介
① 急性期を担う医療機関からの紹介	人	人
② 回復期を担う医療機関からの紹介	人	人

3. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)に、脳卒中の再発により急性期病院へ入院した患者の状況

入院先	自院への入院(転棟)	他院への入院
急性期を担う医療機関への入院	人	人

4. 平成29年度(H29/4/1～H30/3/31)の「地域連携クリティカルパス」実施状況

① 脳卒中地域連携クリティカルパス実施状況	実施している	・	実施していない
② クリティカルパスの利用件数			件

5. 介護支援専門員との連携状況

介護支援専門員と連携している患者の数 (H30/3/31現在)	人
---------------------------------	---

6. 脳卒中の医療連携体制に関して御意見等があれば記入をお願いします。

調査項目は以上です。御協力ありがとうございました！

様式1 脳卒中医療連携評価シート（急性期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

- 平成29年度中の新規入院患者について、「自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者」と「それ以外の入院患者」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。

※ 「それ以外の入院患者（【a】）」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。

※ 前回の調査項目との関係は以下のとおりです。

前回（H28実績）

今回（H29実績）

「脳卒中入院患者数（新規）」 = 「自院以外の急性期病院からの紹介」 + 「それ以外の入院患者【a】」

- 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含まれます。）
- 「合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数」には、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。
- 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数

以下の病院へ紹介した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 総合病院岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

② 自院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

自院内で、地域包括ケア病棟へ転棟した患者数を記載してください。

③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数を記載してください。（把握できるものだけで結構です。）

④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

3. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の専門的治療実施状況

- ・ 下表の区分に従い、実際に行った治療の件数を記載してください。
- ・ 待機的手術を含みます。
- ・ 1回の手術で複数の治療を行った場合は、それぞれを1件としてカウントしてください。
- ・ 担当医師に確認していただく等の方法により、診療報酬を算定していないものについても、可能な限り実施件数に含めてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① t-PA 静注療法	脳梗塞と診断された患者に対し、発症後 4.5 時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した件数（A205-2 超急性期脳卒中加算を算定していない場合も件数に含める）
② 脳内血腫除去術 （脳卒中によるもの）	K164 頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの） K164-4 定位的脳内血腫除去術 K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術
③ 脳動脈瘤クリッピング術	K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭して行うもの） K177 脳動脈瘤頸部クリッピング
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	K178 脳血管内手術
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	K178-2 経皮的脳血管形成術 K178-5 経皮的脳血管ステント留置術（頭蓋内）
⑦ 経皮的脳血栓回収術	K178-4 経皮的脳血栓回収術
⑧ 頸動脈内膜剥離術	K609 動脈血栓内膜摘出術 2内頸動脈
⑨ 頸動脈ステント留置術	K609-2 経皮的頸動脈ステント留置術
⑩ 脳動脈バイパス術	頭蓋外-頭蓋内血管吻合 （STA-MCA 吻合術およびハイフローバイパス）

4. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の「地域連携クリティカルパス」実施状況

- ・ 「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

5. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）のケアプラン作成状況

- ・ 入院中の患者に対し、個別のリハビリ計画や看護計画等を作成した場合の「患者数」を記載してください。1人の患者に複数種類の計画を作成した場合も「1（人）」とカウントしてください。

様式2 脳卒中医療連携評価シート（急性期・回復期の両方を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

- 平成29年度中の新規入院患者について、「自院以外の急性期病院からの紹介による入院患者」と「それ以外の入院患者」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
※ 自院内で「急性期」へ入院後、「回復期」へ転棟した患者は、合わせて「1(人)」としてください（別々にカウントしない）。自院内での「回復期」から「急性期」の転棟も同様。
※ 「それ以外の入院患者（【a】）」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
※ 前回調査（H28実績）では「総患者数」と「うち急性期病院からの紹介」を調査していましたが、今回は「急性期病院からの紹介」と「それ以外」を調査項目にしています。（両方を足すと「総患者数」になる。）
- 【a】のうち再発による入院患者数には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含みます。）
- 「合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数」には、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。
- 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数

以下の病院へ紹介した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 総合病院岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

② 自院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

自院内で、地域包括ケア病棟へ転棟した患者数を記載してください。

③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数を記載してください。（把握できるものだけで結構です。）

④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

3. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の専門的治療実施状況

- ・ 下表の区分に従い、実際に行った治療の件数を記載してください。
- ・ 待機的手術を含みます。
- ・ 1回の手術で複数の治療を行った場合は、それぞれを1件としてカウントしてください。
- ・ 担当医師に確認していただく等の方法により、診療報酬を算定していないものについても、可能な限り実施件数に含めてください。

区分	左記の各区分に含まれる治療内容（診療報酬点数表のコード等）
① t-PA 静注療法	脳梗塞と診断された患者に対し、発症後 4.5 時間以内に組織プラスミノゲン活性化因子を投与した件数（A205-2 超急性期脳卒中加算を算定していない場合も件数に含める）
② 脳内血腫除去術 （脳卒中によるもの）	K164 頭蓋内血腫除去術（開頭して行うもの） K164-4 定位的脳内血腫除去術 K164-5 内視鏡下脳内血腫除去術
③ 脳動脈瘤クリッピング術	K176 脳動脈瘤流入血管クリッピング（開頭して行うもの） K177 脳動脈瘤頸部クリッピング
④ 脳動脈瘤および脳動静脈奇形等に対する脳血管内手術	K178 脳血管内手術
⑤ 選択的脳血栓・塞栓溶解術	K178-3 経皮的選択的脳血栓・塞栓溶解術
⑥ 経皮的脳血管形成術および経皮的脳血管ステント留置術	K178-2 経皮的脳血管形成術 K178-5 経皮的脳血管ステント留置術（頭蓋内）
⑦ 経皮的脳血栓回収術	K178-4 経皮的脳血栓回収術
⑧ 頸動脈内膜剥離術	K609 動脈血栓内膜摘出術 2内頸動脈
⑨ 頸動脈ステント留置術	K609-2 経皮的頸動脈ステント留置術
⑩ 脳動脈バイパス術	頭蓋外-頭蓋内血管吻合 （STA-MCA 吻合術およびハイフローバイパス）

4. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の「地域連携クリティカルパス」実施状況

- ・ 「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

5. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）のケアプラン作成状況

- ・ 入院中の患者に対し、個別のリハビリ計画や看護計画等を作成した場合の「患者数」を記載してください。1人の患者に複数種類の計画を作成した場合も「1(人)」とカウントしてください。

様式3 脳卒中医療連携評価シート（回復期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院へ入院した脳卒中患者の状況

- 平成29年度中の新規入院患者について、「急性期病院からの紹介による入院患者」と「それ以外の入院患者」に分けて、疾患ごとの実人数を記載してください。
 - ※ 「それ以外の入院患者（【a】）」は、急性期病院以外（回復期・維持期）からの紹介患者と、紹介によらない患者（救急搬送を含む）の合計人数になります。
 - ※ 前回調査（H28実績）では「総患者数」と「うち急性期病院からの紹介」を調査していましたが、今回は「急性期病院からの紹介」と「それ以外」を調査項目にしています。（両方を足すと「総患者数」になる。）
- 「【a】のうち再発による入院患者数」には、脳卒中の再発による入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。（前回発症時に、他院で治療を行っている場合も含まれます。）
- 「合計【ア】のうち救急車で搬送された患者数」には、救急車で搬送されてきた入院患者数を記載してください。把握できている患者のみで結構です。また、把握していない場合は「0人」としてください。
- 「合計【ア】のうち居住圏域ごとの患者数」には、居住地が把握できている患者について、二次保健医療圏域別に人数を記載してください。各項目を合わせた人数が、合計【ア】に足りなくても構いません。

2. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に、貴院から退院した脳卒中患者の状況

① 急性期A病院へ紹介した患者数

以下の病院へ紹介した人数の合計を記載してください。

[岡山市]	[倉敷市]
・ 国立病院機構 岡山医療センター	・ 川崎医科大学附属病院
・ 岡山旭東病院	・ 倉敷中央病院
・ 岡山市立市民病院	・ 倉敷平成病院
・ 総合病院岡山赤十字病院	
・ 岡山大学病院	[真庭市]
・ 川崎医科大学総合医療センター	・ 金田病院
・ 岡山済生会総合病院	
・ 岡山ろうさい病院	[津山市]
・ 岡山東部脳神経外科病院	・ 津山中央病院

② 自院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

自院内で、地域包括ケア病棟へ転棟した患者数を記載してください。

③ 他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数

他院の地域包括ケア病棟へ転院した患者数を記載してください。（把握できるものだけで結構です。）

④ 在宅等生活の場に復帰した脳卒中の患者数

「在宅等」は、自宅のほか、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などの医師が配置されていない生活の場を含みます。

3. 平成 29 年度 (H29/4/1～H30/3/31) の「地域連携クリティカルパス」実施状況

- ・ 「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

4. 平成 29 年度 (H29/4/1～H30/3/31) のケアプラン作成状況

- ・ 入院中の患者に対し、個別のリハビリ計画や看護計画等を作成した場合の「患者数」を記載してください。1人の患者に複数種類の計画を作成した場合も「1(人)」とカウントしてください。

様式4 脳卒中医療連携評価シート（維持期を担う医療機関用）

<回答にあたっての留意事項>

1. 平成29年度末現在（H30/3/31）の、貴院・貴施設における脳卒中患者の状況

- ・ 「脳梗塞」「脳内出血」「くも膜下出血」「一過性脳虚血発作」の患者数の合計を記載してください。
- ・ 「H30/3/31現在の総患者数」には、平成28年度以前から貴院・貴施設で治療中（H30/3/31時点で継続中）の患者を含み、平成29年度の途中で治療を終了（または転院）した患者を除きます。
- ・ 脳卒中予防（または再発防止）のために貴院で投薬を行っている場合も、回答に含めてください。ただし、脳卒中の既往歴がある患者でも、経過観察のみで特段の処置等を行っていない場合は除いてください。

2. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の新規患者のうち、紹介によるもの

- ・ 急性期と回復期の両方を担う医療機関から紹介があった患者で、どちらの機能（病床）からの紹介か分からない場合は、「①急性期を担う医療機関からの紹介」に含めてください。

3. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）に脳卒中が再発し、急性期病院へ入院した患者の状況

- ・ 貴院・貴施設から紹介状を出していない場合であっても、脳卒中の再発により急性期病院へ入院したことが把握できている患者については回答に含めてください。逆に、紹介状は出したが、脳卒中かどうか把握していない場合については回答から除いてください。

4. 平成29年度（H29/4/1～H30/3/31）の「地域連携クリティカルパス」実施状況

- ・ 「岡山県の脳卒中地域連携診療計画書」などの書式を使用して、患者や紹介先医療機関に対し、治療の経過や今後の診療計画の説明を行っているかどうかを記載してください。岡山県が定めた書式以外を使用している場合も含みます。また、地域連携診療計画加算を算定していない場合も含みます。

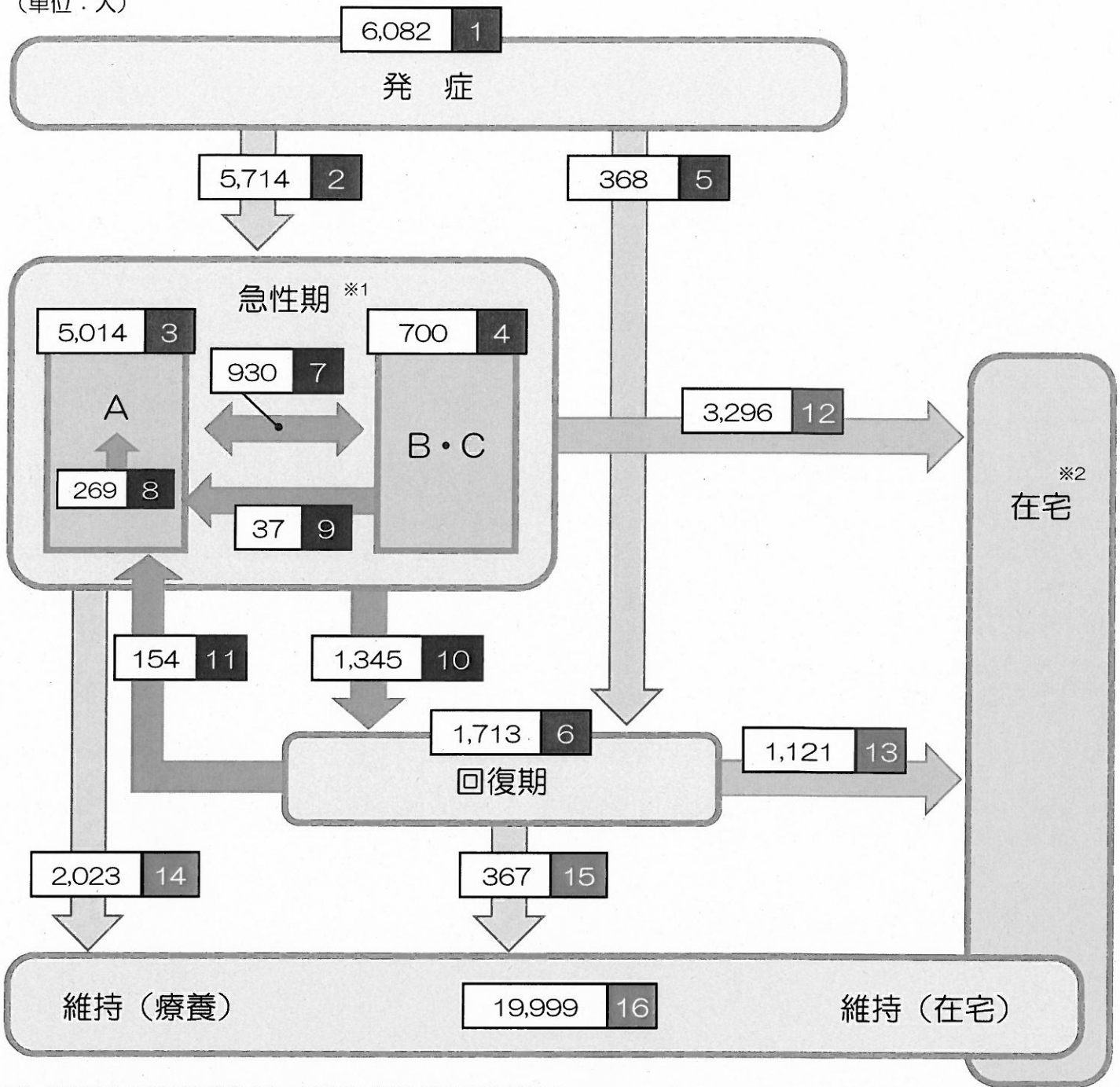
<参考>岡山県が定めた様式

5. 介護支援専門員との連携状況

- ・ H30/3/31現在の脳卒中患者のうち、介護支援専門員との連携（カンファレンス、連絡ノート等による情報共有など）を行っている患者数を記載してください。連携内容が脳卒中と関係するかどうかは問いません。
- ・ 患者が介護支援専門員と契約していても、貴院・貴施設との連携がない場合は、回答から除いてください。

各調査項目の関係性(概念図)

(単位：人)



※1 急性期のみを担う医療機関のほか、急性期と回復期を担う医療機関を含む

※2 自宅のほか、グループホーム等の医師が配置されていない生活の場を含む

1	急性期又は回復期の新規入院患者、紹介除き (P1_上表)	9	入院後、急性期B・CからAへの紹介 (P4_3(1)表)
2	急性期の新規入院患者、紹介除き (P1_上表)	10	急性期から回復期への紹介 (P1_上表)
3	[2]のうち急性期Aへの新規入院患者 (P1_中表)	11	回復期から急性期Aへの紹介 (P4_3(1)表)
4	[2]のうち急性期B・Cへの新規入院患者 (P1_中表)	12	急性期から在宅等生活の場への復帰 (P5_3(2)表)
5	回復期の新規入院患者、紹介除き (P1_上表)	13	回復期から在宅等生活の場への復帰 (P5_3(2)表)
6	回復期の入院患者、紹介込み (P1_上表)	14	急性期から維持期への紹介 (P7_2(1)表)
7	急性期から他の急性期への紹介 (P1_上表)	15	回復期から維持期への紹介 (P7_2(1)表)
8	入院後、急性期AからAへの紹介 (P4_3(1)表)	16	維持期の総患者数 (P6_1表)

平成29年度 急性期医療機関別実績表

(件)

医療圏	急性期区分	医療機関名	急性期脳卒中入院患者数 (急性期からの紹介除く)				治療実績										地域連携クリティカルパス作成件数(自院)
			脳梗塞	一過性脳虚血発作	脳内出血	くも膜下出血	t-PA	脳内血腫除去術 (脳卒中によるもの)	クリンピング術	脳動脈瘤 形等に対する脳血管内手術	脳動脈瘤及び脳動脈静脈奇形等に対する脳血管内手術	選択的脳血栓・塞栓溶解術	経皮的脳血管形成術・経皮的脳血管ステント留置術	経皮的脳血栓回収術	頸動脈内膜剥離術	頸動脈ステント留置術	
県南東部	A	岡山市立市民病院	291	32	91	38	43	27	28	25		4	42	15	3		115
		総合病院岡山赤十字病院	150	23	75	26	18	31	20	8		1	8	6	5		105
		(独)国立病院機構岡山医療センター	180	35	35	5	13	2							5		262
		岡山旭東病院	406	15	78	18	24	15	23	10		2	5		2		159
		岡山済生会総合病院	122	9	44	8	4	7	9	1	1			4		1	66
		岡山大学病院	14	2	4	2	1	1	27	78			4	1	22	7	1
		川崎医科大学総合医療センター	184	14	77	28	36	21	7	30		2	4	2	13	1	279
		岡山労災病院	146	6	50	5	10	11	2								74
		岡山東部脳神経外科病院	289	5	40	12	5	11	14	45			1	7		1	54
	B	総合病院岡山協立病院	51	4	3	2											
	C	光生病院	33	9	6	1											
		玉野三井病院	8	2													
		北川病院	20	2	4												
		岡山中央病院	60	9	18	2	3	2							1		28
岡村一心堂病院		15	5	1	1												
総合病院玉野市立玉野市民病院 赤磐医師会病院		34		12	6												
	小計	2,003	172	538	154	157	128	130	197	1	9	64	35	51	10	1,143	
県南西部	A	倉敷中央病院	610	55	236	54	98	44	27	43		2	52	30	30	22	865
		川崎医科大学附属病院	357	24	127	79	26	26	15	35	6	5	27	10	10		391
		倉敷平成病院	186	21	47	11	8	8	4								
	B	総合病院水島協同病院	49	8	7												4
		玉島中央病院	23	2	6												
		水島中央病院	55	9	18		2		1					3			
	C	笠岡第一病院	22	2	8												
		倉敷記念病院	6														
		児島中央病院	24	16	3	2								7			
	小計	1,332	137	452	146	134	78	47	78	6	7	79	50	40	22	1,260	
高梁新見	C	高梁中央病院	67	2	8	1											
	小計	67	2	8	1												
津山英田	A	津山中央病院	331	69	110	37	22	17	27	5	1	4	16	5	9	4	217
	小計	331	69	110	37	22	17	27	5	1	4	16	5	9	4	217	
真庭	A	金田病院	67		31	3	5	11	2							76	
	C	総合病院落合病院	41	6	6	1				24							
	小計	108	6	37	4	5	11	2		24						76	
	合計	3,841	386	1,145	342	318	234	206	280	32	20	159	90	100	36	2,696	

急性期 (A) の合計	3,333	310	1,045	326	313	232	205	280	8	20	159	80	99	36	2,664
急性期 (B) の合計	178	23	34	2	2		1					3			4
急性期 (C) の合計	330	53	66	14	3	2				24		7	1		28

脳卒中疑い患者の救急搬送について

1 経緯

岡山県メディカルコントロール協議会のワーキンググループにおける意見

- ・脳卒中疑い患者が適切な医療機関へ救急搬送されているか、検証が必要ではないか。

↓

- ・医療機関の選定にあたっては、t-PAの可否だけでなく、合併症や脳内出血に対応できるかも重要。患者が適切に運ばれているかどうかは、脳血管障害の医師等で検討する必要があるのではないか。
- ・脳内出血疑いの患者が急性期病院に集中して運ばれると、受入ができなくなるのではないか。地域全体で上手く回っているかの把握も必要。

2 救急搬送体制連絡協議会（岡山県メディカルコントロール協議会）について

(1) 目的

全県的な救急搬送体制の課題について協議・調整する場として設置

(2) 協議事項

- ① 救急搬送体制の整備・充実に関すること
- ② 消防機関における医療機関の受入情報の収集システムの構築に関すること
- ③ 救急隊と医療機関との連携強化に関すること
- ④ 救急隊員・救急救命士の活動・教育体制に関すること
- ⑤ 傷病者の搬送と受入れの実施基準に関すること

(3) 直近の開催状況

H29. 7. 13	ワーキンググループ	H29 第1回検討会
H29. 10. 18	〃	第2回
H30. 1. 29	〃	第3回
H30. 3. 19	救急搬送体制連絡協議会	
H30. 8. 3	ワーキンググループ	H30 第1回検討会